



鳥取の夏は、 しゃんしゃん祭



第40回記念

今年も、夏がやってきました。鳥取の夏の風物詩と言えば、「鳥取しゃんしゃん祭」。今回で四十回目を迎えるこの「鳥取しゃんしゃん祭」は、長柄の装飾傘を使って踊る「しゃんしゃん傘踊り」を、三五〇〇人の踊り子が市内の目抜き通りを踊り歩く、全国でも珍しい祭りです。

今年も四十回を記念して、十五日(日)、十六日(月)の二日間にわたり開催し、第四十回記念式典をはじめ、花火大会、フリーステージなど多彩なイベントを実施します。そして、この祭りのメイン「しゃんしゃん一斉踊り」は、十六日の夕方五時から夜の九時にかけて行われ、約二キロメートルに渡る踊りコースに、四力所のステージを設置し、踊りを演出します。また、「鳥取の踊りと食を堪能できる栈敷席」を設け、ゆっくりと「鳥取しゃんしゃん祭」をご覧いただけるほか、一斉踊り会場内には、賑わい屋台村、傘踊り体験コーナーなど例年のないイベントも満載で、街中が祭りムード一色に盛り上がります。